

(別紙5)

補助事業番号 27-1-066
補助事業名 平成27年度難病及び希少難病に関する研究機器（医療機器）の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本事業の目的は「肥大型心筋症における中隔心筋切除術のさらなる向上を目指し、左室内腔を内視鏡補助下に適切な心筋切除部位診断および切除後の評価を施行すること」である。こうした術式が本事業により、より安全かつ効果的な治療として確立されれば、同疾患に苦しむ患者を救済できおおきな社会貢献ができると考えられる。

(2) 実施内容

物品名：[KARL STORZ術野カメラSRS画像記録システム](#)

数量：一式

金額：3,448,400円

肥大型心筋症に対する外科治療法において重要な点は、術中評価による適切な治療効果（中隔心筋切除において合併症を起こさず治療効果が得られる最適な心筋切除を行うこと）を得ることである。一方、術中、肉眼的にその効果を判定することはしばしば困難であり、これまでは心筋切除後の左室内を心拍動下で経食道エコー検査により評価するのみであった。こうした不確実性の改善を図る目的として肉眼的確認が困難な左室内腔全体を高画質な内視鏡を用いて心停止下に評価することで、これまで以上に治療効果を客観的に評価できるという利点がある。加えて高画質による画像評価、記録は今後さらなる治療効果を全国に広めていくうえで情報を病院間で共有するという点からも重要であると思われる。

今回導入予定の手術室画像システムSRS (Surgery Recording system) (株) Medi Plus (東京、品川) の特徴は「簡単な操作」「便利な機能」「先端の高画質」、を追求した次世代の手術映像記録、管理、共有システムである。こうしたシステムの利用は、病院の大切な資産である手術映像を最大限に活用できるシステムである。

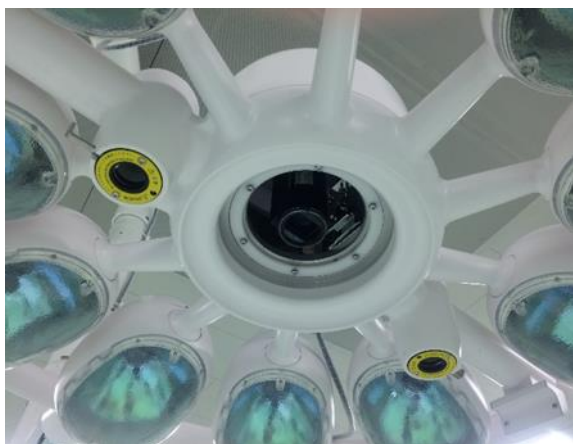
(別紙5)



(手術室 全体)



(天吊りモニター)



(術野カメラ)

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

これまでの心筋症外科治療は、術前のCT MRI 心臓エコー検査などにより術前の評価から術式を決定するとともに、術中においては外科医の判断による心筋切除部位を決定するなど、外科医の判断によるところが大きい側面があった。

しかしながら、今後、こうした術中の高画質映像を主にしたデータの蓄積により、心筋症外科治療における、より正確かつ安全な治療が客観的に評価でき、こうした結果が今後さらなる患者への良好な長期予後に反映されることが予想される。さらに、こうした経験をもとに、ある一定の外科医による特殊な術式ではなく、学会活動等を通じて、多くの外科医が広く情報(手術手技など)を共有することで、確立された術式を多くの心筋症における外科治療が必要と判断された患者に提供できる可能性が予想される。

3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

ポスター(院内掲示)

ホームページ(<http://www.hq.heart.or.jp/>)

平成27年度事業報告書(8月頃完成予定)

院内ホームページ

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会(コウエキザイダンホウジンニホンシンゾウケツアツケンキュウシンコウカイ)

住 所 : 〒162-0054 東京都新宿区河田町8-1

代 表 者 : 理事長 細田 瑛一(ホソダサイイチ)

担 当 部 署 : 事務局(ジムキョク)

担 当 者 名 : 課長補佐 数見由紀(カチョウホサ カズミユキ)

電 話 番 号 : 03-3357-7643

F A X : 03-3353-8090

E - m a i l : kazumi@hq.heart.or.jp

U R L : <http://www.hq.heart.or.jp/>